



INFORMATION

MERRY IN NEW YORK 1年後のNYを体感するアートイベント



フリーペーパーの表紙(右)は、新聞を意識し、「ニューヨークタイムズ」で使っているロコタイプをひろってデザインしている

「あなたにとって Merry とは何ですか？」と街の人々に問いかけ、彼らの言葉と笑顔を集める。アートディレクター水谷孝次が99年から続けているアートプロジェクト“Merry”。カメラ片手に街中を歩きまわって“Merry”な表情を切り取る水谷は、人と人を介して生まれるコミュニケーション・アートという新しいジャンルを確立した。原宿の女の子の写真のその場でポスターにしまったり、震災後の神戸で笑顔のポスターを街中に貼ったりと、人とのつながりを体感できるアートは常に注目を集めてきた。今回水谷が取り上げた街は、テロ1年後のNY。9月11日をはさんで9日間、NYで撮影を行ない、400人及ぶ笑顔と直筆メッセージを集めた。六本木のイベントスペース THINK ZONE では、これらの写真と直筆メッセージが床や壁面に映し出され、Merry な空間を体感できるアートイベントが開催される。また、会期中には「フリーペーパー」がNYと東京を中心に世界中に配布される。笑顔という世界共通言語を通して、広がる Merry なパワーを体感できる。

MERRY IN NEW YORK
会期：2月14日(金)～23日(日)
6：30 PM～1：00 AM (日曜定休)
場所：六本木ヒルズインフォメーションセンター／THINK ZONE